

# 今、学校園がおもしろい!!

2020年2月28日

## 「つながり きずなを深めよう」～佐野中学校区 すこやかフェスタさの～

天候が心配されましたが、すっきりとした青空が広がった令和元年10月20日（日）に佐野中学校で「すこやかフェスタさの」が開催されました。地域教育協議会のメンバーである青少年指導員や各校PTA、地域の方々や中学校の生徒会などが工夫を凝らしたゲームや模擬店などを準備し、盛大に行われました。



開会式では第二小学校の保護者有志のコーラスに子どもたちが元気よく振り付けをした「パプリカ」などの発表や、定期演奏会を終えて3年生が引退し、初めての1・2年編成での合奏になる佐野中学校吹奏楽部の演奏があり、フェスタのオープニングに華を添えました。



開会式の後はいよいよグラウンドで模擬店のスタート。毎年恒例の本物さながらのミニロケット発射体験やストラックアウト、輪投げやわら細工づくりなど、各団体がそれぞれ創意工夫した体験ブースを開設し、参加した子ども

たちは思い思いに楽しんでいました。また、体験ブースの他にもフランクフルトや焼きそばなどの模擬店のブースもあり、長い列ができていました。

また、佐野中学校区とんぼの会の生徒が、千葉県に災害義援金を贈るための募金活動も行い、会場内で参加者に声をかけていました。

フェスタの最後は和太鼓グループによる力強い和太鼓の生演奏で締めくくられました。子どもたちを中心として地域・保護者・学校がつながり、きずなを深める素晴らしい休日となりました。



各中学校区で、今年度も地域教育協議会主催のイベントが開催されました

## 「顔の見える地域づくりを」～第三中学校区 和い輪いまつり～

令和元年10月20日（日）、「第18回和い輪いまつり」が和い輪いネット（第三中学校区地域教育協議会）主催で開催されました。今年は第三中学校を会場に、例年より約1か月早い開催となりました。

10時からのオープニングを飾ったのは第三中学校の吹奏楽部です。1・2年生が「アラジン」のメドレーと「男の勲章」を披露しました。演奏が終わった後、中学校の制服のまま和い輪いまつりを楽しんでいる吹奏楽部の部員に、地域の色々な方から「吹奏楽部でがんばってるんやね。」「演奏よかったよ。」と声をかけられていることが印象的でした。



開会式の後は一斉に各ブースの催しがスタートし、小さな子どもから、第三中学校区の小学生、中学生、卒業生まで、たくさんの子子どもたちが来場しました。



体育館内のストラックアウト、くじ引き、輪投げ、オセロ等のゲームコーナーは和い輪いまつりの定番コーナーになってきました。「釣りでゲット」「手作りでゲット」等、ゲームを楽しんだ上に景品ももらえてうれしそうにする子どもの姿や、自分でおもちゃを作って、自慢げにおもちゃを持ち帰る子どもの姿もありました。

この日は天気もよく、屋外の飲食ブースも大盛況でした。早々に完売して拍手が沸き起こるブースがあったり、最後の駆け込みで食べ物を買に来る子どもや大人の姿があったりと、まるで縁日のようにあちらこちらで笑顔があふれていました。

昨年度も、子どもの成長した姿を通して、子どもと地域の方がたくさん触れ合っていた和い輪いまつりですが、今年度は地域の大人同士がコミュニケーションをとっている場面が多くみられたように思います。「日ごろから、顔の見える関係を」という、第三中学校区の地域の方の願いが、実ってきていることが感じられます。今後も地域の絆を大切にしたいと感じた和い輪いまつりとなりました。